1 健康づくり事業関係

(1)「健康青森地域21」の推進について

ア 「健康あおもり21」、「健康青森地域21」推進のための普及啓発

		· (E/A)	事業の内容				
	事 業 名		開催年月日	開催場所	対象者等		
1	各種会議			<u> </u>	<u>I</u>		
	青森地域保健医療推進協 議会		H29. 9.27(水)	ラ・プラス青い森	青森地域保健医療推進 協議会委員		
	管内保健師活動連絡会	注	H29. 8. 7(月)	東地方保健所	 町村及び保健所保健師		
	官的保健即佔數建稻云	我	H30. 2.28(水)	東地方保健所	可们及OTK使用 未使即		
2	研修会・健康教育						
	食生活改善推進員連絡 議会研修会	各協	H29. 5.12(金)	アピオあおもり	食生活改善推進員 50名		
	東地方保健協力員連約 研修会	各会	H29. 8.30(水)	平内町勤労青少年ホーム	管内保健協力員等 93名		
	管内食生活改善推進員 絡協議会合同料理講習	会	H29.10.17(火)	アピオあおもり	管内食生活改善推進員 29名		
	だし活伝道師ステップ ップ研修会	プア	H29. 9. 7(木)	アピオあおもり	管内食生活改善推進員等 26名		
	給食施設研修会		H29.12.19(火)	東地方保健所	管内給食従事者 18名		
	町村栄養改善研修会		H29.12.27(水)	東地方保健所	町村栄養士等 11名 		
	喫煙防止		別記: 喫煙対策推進事業に掲載				
	心の健康づくり		別記:心の健康づくり事業に掲載				
	歯の健康		別記:歯科保健対策事業に掲載				
	その他普及啓発		別記:地域・職域連携推進事業に掲載				
3	キャンペーン活動						
	世界禁煙デー 禁煙週間	Н 2	29.5.31~6.6	ポスター掲示			
			29.6.4~6.10 ポスター掲示				
			29.9.1~9.30 ポスター掲示				
	保健所ホームページ	通生	E	空気クリーン施設・空気クリーン車両登 設・車両のお知らせ			
	その他普及啓発	通生	Ē	健康教育等			

(2) 喫煙対策推進事業

喫煙による健康障害に対する予防意識の普及啓発及び受動喫煙防止対策の推進

ア 「空気クリーン施設(受動喫煙防止対策実施施設)」・「空気クリーン車(受動喫煙防止対策実施車両)」推進事業

健康づくりに良好な環境づくりを推進するために、施設内禁煙を実施している施設や飲食店に認証ステッカーを交付するとともに、掲載希望を確認の上、ホームページ等で公表している。

○現地調査

60件

○ステッカー交付件数 50件

外ヶ浜町体育館、外ヶ浜町ふるさとセンター、 外ヶ浜町公民館、佐々木建設工業、平内薬局、 張間水産、東青設備工業、みちのく銀行 等

イ 普及啓発

世界禁煙デーにおける受動喫煙防止について、庁舎内に禁煙週間スローガン入りポスターの貼付 及び、たばこに関するパンフレットの設置をした。

ウ健康教育

東青地域県民局地域健康福祉部職員を対象に、喫煙による健康障害に対する予防意識の普及啓発 のため、喫煙対策研修会(1回)を実施した。

「空気クリーン施設(受動喫煙防止対策実施施設)」・「空気クリーン車(受動喫煙防止対策実施車両)」 登録状況(平成30年3月末現在)

		小 計	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町
	官公庁	12	6	2	1	3
	文化施設	21	11	2	3	5
	教育•保育施設	31	16	4	3	8
	医療施設 (機関)	23	10	3	2	8
施	福祉・介護施設	12	4	1	3	4
設	体育施設	10	5	0	1	4
内	事業所	6	3	1	2	0
訳	交通機関	0	0	0	0	0
	飲食店	7	2	1	1	3
	宿泊施設	1	0	1	0	0
	その他施設	8	0	1	0	7
	タクシー等	91	45	11	12	23
	計	222	102	27	28	65

※青森市の空気クリーン施設認証は、本庁で対応している。

(3) 地域·職域保健連携推進事業

壮年層の健康づくりに資するために、市町村や保健所等で実施している保健サービスと職域で実施している保健事業等について相互の連携を深め、生活習慣病予防対策の円滑な推進を図る目的で実施。 地域別計画「漁業者の健康改善大作戦事業」において、「漁師の健康を考える会」を開催し、健 (検)診受診率の向上を目標に戦略を話し合い、モデル地区住民への働きかけを積極的に行った。また、この取り組みを多くの方に知ってもらうために、漁協広報等の広報誌や新聞へ記事を掲載した。 ※詳細は、(6)漁業者の健康改善大作戦事業を参照

(4) 地域診断について

ア目的

地域診断は、対象となる地域のきめ細かい観察や既存の保健統計を通して、地域ごとの問題、 特徴を把握することであり、根拠に基づいた、健康政策、公衆衛生を展開していくうえで最も 基本的で重要なことである。そこで、特定健康診査データ及びレセプトデータを用いた地域診 断を実施し、効果的で効率的な「健活」を推進できるようにする。

イ 地域診断事業は終了しているが、町村支援の一環として地域診断を実施し、データを町村 に還元した。

(5) 漁業者の健康改善大作戦事業

ア目的

東青地域の基幹産業である『漁業を守り、さらに発展させる』ために、漁業従事者が自らの健康を考え、自ら健康づくりに取り組むことで、生活習慣病の発症を予防し、健康寿命を延ばすことができるようにするために、関係機関との戦略会議、漁業従事者等を構成員として「漁師の健康を考える会」を開催している。

また本事業は、平内町の間木・東滝地区をモデルとして、平成26年度から町と協働で実施しているものであり、平成28年度から茂浦地区をモデルとして追加している。取組にあたっては、保健サイドだけでなく漁業サイドも巻き込んだ取り組みが必要と考え、平内町漁協、漁協女性部、地区の各組織等の協力を得て進めているものである。

イ 関係機関との打ち合わせ

行政における関係機関が集まり、平内町の健康課題の理解、事業を展開する上で必要な漁業 に関する情報の共有、取組の計画等について検討した。

開催日	場所	内容	参集機関
H29.5.29 (月)	平内町役場	○情報共有平成 28 年度事業実績について○打合せ漁師の健康を考える会の計画について	平内町健康増進課、東地方保健所

ウ 漁師の健康を考える会

漁業従事者の生活実態・現状を分かっている人で構成され、意見交換を通じて自分たちの健康づくり活動の取組内容や方法等の仕掛け案を考えることを目的としている。

構成員の主な役割は、①健康課題の共有、②取組内容・方法、周知等の企画案検討、③取組 実施中の住民の声・反応を行政に情報提供することである。

○間木・東滝地区(場所:平内町漁業協同組合小湊支所)

開催日	内容	出席者	
H29.11.6(月)	【試 食】だしのうま味が美味しい減塩スープ 【説 明】これまでの取組と健診受診者数の変化 【情報提供】①構成員として健診受診勧奨訪問をした感想 ②地域活性化センターのインタビューを受け た感想 ③北海道・東北ブロック保健師等研修会の報告	構成員 9名 オブザーバー3名 平内町 10名 東地方保健所3名	
	【意見交換】①試食と情報提供の内容についての感想 ②基幹産業である漁業を守るために	計 25 名	
H30.2.15 (木)	【試 食】野菜ジュースを活用した炊き込みご飯 【情報提供】①平成29年度健(検)診の受診者について ②地域活性化事例集「地域で取り組む健康づく り」の紹介 ③東和、浅所地区の漁協婦人部で活動の紹介	構成員10名オブザーバー 3名5名見学者5名平内町10名東地方保健所 2名	

【意見交換】①どのような地域になったらいいか ②これまで学んだことを地域に広げていくた	計 30 名
めに	п оох

○茂浦地区(場所:平内町漁業協同組合茂浦支所)

開催日	内容	出席者
H29.4.14(金)	【試 食】野菜たっぷり手軽に作れる副菜 【講 話】さけ・たばこ・メタボと若死にの話 平内中央病院 医師 小野正人 氏 【意見交換】講話を聴いての感想等	構成員15名オブザーバー 3名平内町12名東地方保健所 3名
H29.6.27 (火)	【試 食】野菜ジュースを活用した炊き込みご飯 【話題提供】食生活について 【意見交換】①健康のために新たに取り組んだこと ②菓子パン等を多く摂る理由、改善策について	計 33 名 構成員 11 名 オブザーバー 3 名 平内町 9 名 東地方保健所 4 名 学生 4名 計 31 名
H29.9.14 (木)	【試 食】低カロリーおやつ 【話題提供】茂浦地区の「いま」と「未来」 【意見交換】地区の現状を住民へ伝えるためにどうしたらよ いか	構成員 13名 オブザーバー3名 平内町 10名 東地方保健所3名 学生 2名 計31名

工 広報活動

日時	内容
H29.8.3 (木)	平成29年度北海道・東北ブロック保健師等研修会にて活動報告
	報告者:平内町松山指導監
H29.10.4 (水)	構成員へ地域活性化センターによるインタビュー
	これにより H30.1「地域で取り組む健康づくり」事例集が作成された
H29.10	茂浦地区回覧板にて漁師のヘルス新聞を回覧
H30.2.12 (月)	東奥日報の取材を受け、同紙に活動が大きく掲載された
H30.2.21 (水)	あおもりアグリヘルスアップセミナーにて活動を報告

オ その他

モデル地区全世帯訪問に対し、健診受診勧奨及びアンケート調査を実施するため、保健協力員、 町職員、保健所職員で家庭訪問を実施した。(H29.7.18)。なお、間木・東滝地区においては、構成 員が自主的に受診勧奨訪問を実施した。

2 栄養改善事業関係

(1) 市町村栄養改善業務支援事業

ア目的

東青地域における栄養改善業務が円滑に推進できるよう、保健計画等の企画・立案の支援 並びに地域住民を対象とした栄養指導等の業務に従事する者が情報を共有するとともに、 資質の向上を図る。

イ 実施内容

	開催年月日	場所	内 容	参加人員
会議	平成30年 2月28日(水) 14:00 ~16:00	東地方保健所	 ※地域保健関係者研修会併催 1 講話及び実技 「糖尿病の運動療法~運動指導の実際~」 青森県立中央病院臨床検査部健康運動指導士 西村 司氏 2 情報交換 「各市町村の糖尿病重症化予防の取組状況 について」 3 情報提供 「災害時における栄養・食生活支援 (平常時のセルフチェックについて)」 	町村職員7名
			東地方保健所健康増進課 技師 盛 美咲	

※研修会は、給食施設栄養管理指導事業と合同で実施した。

(2) 給食施設等栄養管理指導事業

ア目的

健康増進法に基づき、栄養管理の実施について、必要な指導及び助言を行い、喫食者の 健康増進に寄与する。また、「健康青森地域21」の推進に向けた食環境整備の一環として 行う。

イ 実施状況

①指導状況

	巡回指導対象施設				巡回指導		
	特定給食施設		その他		対象外施設		総計
	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	
巡回指導 延施設数(A)	6	0	14	1	1	14	36
施設来所 延指導数	0	0	0	0	0	0	0
電話による 相談数	0	0	0	0	0	0	0
喫食者への栄養 ・運動指導延人員	0	0	0	0	0	0	0
巡回指導対象 施設数(B)	6	0	14	1	1	14	36
指導率 % (A÷B×100)	100	_	100	100	100	100	100

②研修会

開催年月日	場所	内 容	参加人員
平成29年		1 講話 「栄養食事情報提供書について」 青森県立保健大学健康科学部栄養学科 准教授 齋藤 長徳氏	給食従事者
12月19日(水) 14:00 ~16:00	東地方 保健所	2 グループワーク 「栄養食事情報提供書の活用について」	16名 町村職員 2名
10.00		3 情報提供 「給食施設の衛生管理について等」 東地方保健所健康増進課 技師 盛 美咲	24
平成29年 12月27日(月) 14:00 ~16:00	東地方保健所	1 話題提供 「健康課題に即した献立の提供と食育活動の在り方 ~文部科学省事業スーパー食育スクール事業の取組から~」 東通村立東通小学校 栄養教諭 飛内 美津子氏 「平内町早期すこやか生活習慣病健診 ~子どもから始める予防活動について~」 平内町役場健康増進課栄養指導係 主幹 井口 凡子氏 2 情報交換 「地域における連携した小児肥満対策について」 3 情報交換 「給食施設の衛生管理について等」 東地方保健所生活衛生課 主幹 飯塚 崇行 健康増進課 技師 盛 美咲	給食従事者 8名 町村職員 3名

(3) 青森のおいしい健康応援店認定事業

ア目的

青森県健康増進計画「健康あおもり21 (第2次)」の栄養・食生活分野において目標としている「肥満予防」「食塩摂取量の減少」「野菜摂取量の増加」を踏まえた食事メニューの提供を行う飲食店等を「青森のおいしい健康応援店」として認定し、県民が外食等を利用する際に適切なメニューを選択できる食環境の整備を図る。

イ 実施状況

実施年度	実 施 件 数	
平成29年度	4件	

ウ 普及・啓発

- ①町村への情報提供依頼
- ②訪問勧奨

(4) 栄養成分表示・虚偽誇大広告等・特定保健用食品

ア目的

- ① 栄養成分表示の望ましい運営を図るため、表示の普及・啓発及び活用について、 消費者及び食品業者に対し適切な相談指導を行う。
 - 栄養成分表示指導 10件
- ② 食品として販売に供する物に関して行う、健康保持増進効果等に関する虚偽誇大広告等の禁止及び広告等適正化のための監視指導等を行う。
 - ・健康増進法32条に基づく指導 0件

結核予防関係 3

(1) 結核診査協議会の診査状況

区分	感染症法第37条の2関係	感染症法第37条関係	計
年 度	(通院公費負担)	(入院 19条、20条)	
29年度	4	1	5
28年度	8	8	16
2 7年度	11	6	17

(注)感染症法:感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の略称

(2) 新登録結核患者数(活動性分類別)

平成29年1月1日~平成29年12月31日

				新	登 録	者	数		
				活	動性を	う 類			潜在性結
		性	別		活動性	肺 結 核		活動性	核感染症
	計	男	女	喀痰塗	抹陽性	その他の	菌陰性	肺外結核	(別掲)
市町村		77	女	初回治療	再治療	結核菌陽性	その他		((25(1)(1)
平内町	0	0	0	0	0	0	0	0	1
今 別 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
蓬 田 村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外ヶ浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 29 年計	0	0	0	0	0	0	0	0	1
平成28年計	4	4	0	2	0	2	0	0	4
平成27年計	2	1	1	2	0	0	0	0	2

単位:人

(3) 新登録結核患者数(年齢階級別)

※潜在性結核感染症は()内に別掲 平成 29 年 1 月 1 日~平成 29 年 12 月 31 日

						7/-	及 23 十 1	/1 T H	——/JJX, Z9	一17771)I H
年齢階級市町村	0~4	5~9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~	計
平 内 町	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)
今 別 町	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
蓬 田 村	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)
外ヶ浜町	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
平成 29 年計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)
平成 28 年計	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	1 (0)	0 (0)	3 (1)	4 (4)
平成27年計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	2 (2)

単位:人

※年齢は登録時点

(4) 全登録結核患者数(活動性分類別)

平成29年12月31日現在

 $^{\circ}$ 9 観察中 (別揭) 潜在性結核感染症 0 0 0 0 4 $^{\circ}$ 治療中 0 0 0 0 0 0 0 活動性不明 0 0 0 0 0 0 0 不活動性 結核 肺外結核 活動性 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 _ $^{\circ}$ 0 登録時 歯陰性・ その他 葱 ポ 0 0 0 \vdash 0 0 登録時その他の結核菌湯性 弒 肺結核活動性 重 0 0 0 0 0 0 0 汩 再治療 登録時 喀痰塗抹陽性 0 0 $\overline{}$ $^{\circ}$ 2 $^{\circ}$ $^{\circ}$ 初回治療 0 0 0 \not 別 缸 0 眠 0 0 $^{\circ}$ 2 $^{\circ}$ $^{\circ}$ 2 登録者 総数 量 旨 拉 11111111 旨 11111111 # # 卅 笊 2 7 29 ∞ \mathbb{K} 別 \blacksquare $^{\circ}$ 単位:人 r 平 平限 松 * 1 1 **⟨**r 蓬

-51-

(5) 全登録結核患者数(年齢階級別)

() 内は潜在性結核感染症の別掲 平成29年12月31日現在

年齢階級市町村	0~4	5~9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~	計
平 内 町	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)
今 別 町	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)
蓬 田 村	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (4)
外ヶ浜町	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	3 (1)
平成29年計	0(0)	0(0)	0(0)	0(1)	1(0)	0(3)	0(1)	2(0)	0(0)	2(2)	5(7)
平成 28 年計	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (1)	0 (1)	2 (0)	0 (0)	2 (2)	5 (6)
平成 27 年計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (4)	0 (1)	2 (8)

単位:人

(6) 結核患者有病率及び罹患率

(人口は平成29年10月1日の推計人口)

市町村	分 <u>\</u>	人 _口 (人)	活動性結核 患者数	有病率 (人口 10 万対)	新登録結核 患者数	罹患率 (人口 10 万対)
平 内	町	10, 682	0	0	0	0
今 別	町	2, 604	0	0	0	0
蓬 田	村	2, 771	0	0	0	0
外ヶ浜り	町	5, 860	0	0	0	0
平成 29 年	計	21, 917	0	0	0	0
平成 28 年	計	22, 416	5	22. 3	4	17.8
平成 27 年	計	22, 988	2	8. 7	2	8.7

- (注) 1 結核有病率:人口10万人に対する年末時点における活動性結核患者数。
 - 2 結核罹患率:人口10万人に対する1年間に新しく登録となった結核患者数(潜在性結核感染症を除 <,)

(7) 定期健康診断

ア 一般住民結核健診実施状況

				エックス線検査	検査		# # # # # # # # # #	精密検査		指導区分	区分		B C (Ð
			対象者数 (A)	受診者数 (B)	受診率 (B) / (A) %	対象者数 (C)	受診者数 (D)	受診率 (D) / (C) %	菌検査数 (E)	要医療	要観察	対象者数 (F)	受診者数 (G)	受診率数 (G) / (F) %
	1	内用	J 3, 937	780	19.8	17	15	88. 2	0	I	I	63	54	85. 7
	⟨	別町	J 1, 329	308	23.2	0	0	I	0	I	I	8	8	100.0
2 9	麯	田村	f 1,080	250	23. 1	0	0	I	0	I	I	17	15	88. 2
	*	ケ浜 町	J 2,773	642	23.2	8	5	62. 5	0	I	I	13	14	107.7
		111111111111111111111111111111111111111	9, 119	1, 980	21.7	25	20	80.0	0	I	I	101	91	90. 1
	<u></u>	内 町	J 3, 861	282	20.3	13	6	69. 2	0	I	l	45	42	93. 3
	⟨	別町	J 1, 506	305	20.3	0	0	ı	0	I	I	8	8	100
2 8	対	田村	f 1,143	246	21.5	11	6	81.8	0	1	_	16	14	87.5
	举	ケ浜町	J 2, 714	276	21.2	7	7	100	0	1	_	12	15	125
		111111111111111111111111111111111111111	9, 224	1,912	20.7	31	25	80.6	0	1	1	81	62	97.5
	址	内 町	J 3,868	689	15.2	12	11	91.7	0	1	_	02	53	75.7
	₹	別町	J 1, 376	274	19.9	0	0	_	0	1	_	14	6	64.3
2.7	対	田村	f 1,079	219	20.3	3	3	100	0	1	_	17	19	111.8
	外	ヶ浜町	J 2, 705	609	22. 5	6	7	77.8	0	1	_	28	18	64.3
		111111111111111111111111111111111111111	9,028	1,691	18.7	24	21	87.5	0	1	1	129	66	76.7
(浜)	1	(B) 121°	扣接撮影及	い間接撮影	(B) には間接撮影及び間接撮影を省略して直接撮影のみ行った者を計上	撮影のみ行・	った者を計上	1 1						

1 (B) には間接撮影及び間接撮影を省略して直接撮影のみ行った者を計上 2 平成19年度以降のエックス線検査は65歳以下の者の私計ト

平成19年度以降のエックス線検査は65歳以上の者のみ計上

定期健康診断実施狀況

指導区分	要観察		I	1	1	1	I	I	I	I	1	1	1	I
非	要医療		1	-	-	-	I	I	-	I	-	_	-	-
	菌検査数	(E)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10
精密検査	受診率	$(D)\diagup(C)\%$	100.0	-	100.0	100.0	57.1	100	100	6 '88	100	-	100	100
精密	受診者数	(D)	4	0	9	10	4	1	19	24	3	0	2	8
	対象者数	(C)	4	0	9	10	2	П	19	27	3	0	2	8
北州	受診率	$(B)\diagup(A)\%$	98.8	100.0	100.0	99. 1	97.6	100	100	98. 4	95. 5	100	98.3	96.8
エックス線検査	受診者数	(B)	732	42	222	966	1,014	52	443	1, 509	513	69	347	919
H	対象者数	(A)	741	42	222	1,005	1, 039	25	443	1,534	537	69	353	949
	ı		事業所長	学校長	施設長	総数	事業所長	学校長	施設長	総数	事業所長	学校長	施設長	総数
	5 6 6			0	0			0	7					

学校長の対象者数は生徒を計上

^{2 2 5}

施設長の対象者数は入所者を計上 学校、施設、町村の職員は事業所長の対象者数に計上

(8) 接触者健診及び精密検査(管理検診)実施状況

		HEIVE. (H	<u> </u>	接触者健診		精密	寅査(管理核	(
		年 度	総数	保健所	他の受診	総数	保健所	他の受診
			小心女X	実施	を確認	小心 女X	実施	を確認
		29 年度	0	0	0	0	0	0
	ツ 反	28 年度	0	0	0	0	0	0
		27 年度	1	1	0	0	0	0
		29 年度	0	0	0	0	0	0
	BCG	28 年度	0	0	0	0	0	0
		27 年度	0	0	0	0	0	0
		29 年度	0	0	0	0	0	0
	間接	28 年度	0	0	0	0	0	0
X		27 年度	2	0	2	1	0	1
線		29 年度	6	6	0	11	10	1
	直接	28 年度	12	0	12	9	0	9
		27 年度	31	19	12	15	12	3
		29 年度	0	0	0	0	0	0
	CT 検査等	28 年度	0	0	0	0	0	0
		27 年度	0	0	0	0	0	0
		29 年度	0	0	0	0	0	0
精	菌検査	28 年度	0	0	0	0	0	0
密		27 年度	0	0	0	0	0	0
検		29 年度	0	0	0	0	0	0
査	赤沈	28 年度	0	0	0	0	0	0
		27 年度	0	0	0	0	0	0
		29 年度	1	1	0	0	0	0
	QFT 検査	28 年度	16	2	14	0	0	0
	1央重	27 年度	55	55	0	0	0	0
		29 年度	0	0	0	0	0	0
	被発見者	28 年度	3	0	3	0	0	0
		27 年度	3	3	0	0	0	0

⁽注) 1 保健所実施には委託医療機関実施及び定期病状調査を含む

² 平成19年度以降のCT検査等は気管支鏡検査となる

³ 平成27年度被発見者中1名は他保健所にて登録

(9) 相談及び訪問指導状況

ア 相 談 結核患者発生時の接触者健康診断及び登録患者の精密検査(従来の管理検診)に伴う 相談に対応した。

イ 訪問指導

訪問件数	延べ数	実 数
29年度	19 (再掲) DOTS 19	4 (再掲) DOTS 4
28年度	10 (再掲) DOTS 10	8(再掲)DOTS 8
27年度	8 (再掲) DOTS 8	6 (再掲) DOTS 6
26年度	13 (再掲) DOTS 13	13 (再掲) DOTS 13

[※]DOTSカンファレンスを含む。

(10) 結核対策事業実施状況

≪特別対策事業≫

地域DOTS推進事業

-		
	内 容	実施者数
	(1) 地域DOTS	6

《一般対策事業》

啓発用資料等の掲示

結核予防週間の普及啓発活動による、ポスター掲示、保健所ホームページ掲載を実施した。

4 母子保健事業関係

(1) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

ア目的

児童福祉法第19条の22の小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の規定に基づき、慢性的な疾病にかかっていることにより、長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成及び自立促進を図るため、小児慢性特定疾病児童等(以下「小慢児童等」という。)及びその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うとともに、関係機関との連絡調整その他の事業を行う。

イ 対 象

小児慢性特定疾病児童等、長期にわたり療養を必要とする児童

ウ 療育指導

① 相談·機能訓練·訪問指導

実人員 8人

② 電話相談

延べ人員 1人

③ ①の再掲

				延	人」	1			
実人員	申請等	医療	家庭 看護	福祉 制度	就学	食事 栄養	歯科	その他	=
8			1 1						1 1

機能	訓練	訪問	指導
実人員	延人員	実人員	延人員
0	0	5	7

(2) 妊産婦支援体制整備事業

ア目的

虐待による死亡が生じ得るリスク要因として、保護者側の強い抑うつ状態が挙げられており、その対策として、虐待に至る前に気になるレベルで適切な支援を行い、育児の孤立化、育児不安の防止に努める「発生予防」の視点が重要とされ、母子保健にもその役割が求められていることから、母子保健の側面から地域養育支援体制を整備する。

イ 実施状況

①母子保健ネットワーク会議

開催年月日	場	所	内容	参加者
H29.12.6 (水) 14:00~16:00	東地健所2議室		①事例検討 「養育面で問題を抱える家庭への支援について」 助言者:青森県立精神保健福祉センター所長 田中 治 ②情報提供 青森市及び東津軽郡町村の妊産婦情報共有システムの運用状況について ③その他 産後に「つながる」禁煙支援事業について	医療機関 10 名 東津軽郡町村 4 名 青森市保健所 7 名 浪岡事務所 1 名 青森県立精神保健 福祉センター1 名 中央児童相談所 1 名 当保健所職員 6 名

(3) 女性の健康支援事業

ア目的

女性は妊娠、出産等固有の機能を有するだけでなく、女性特有の身体的特徴を有することにより、さまざまな支障や心身にわたる悩みを抱えている。このため、生活に密着した身近な機関に

おいて、女性がその健康状態に応じ的確に自己管理を行うことができるよう、気軽に相談することができる体制を確立することにより、生涯を通じた女性の健康の保持増進を図ることを目的に平成14年度から月1回「女性の健康相談」を実施している。

イ 実施状況

①定期相談:1件(婦人科疾患、更年期障害に関すること) ②随時相談:1件(電話相談含む、不妊に関すること)

(4) 特定不妊治療費助成事業

ア目的

不妊治療のうち、体外受精及び顕微授精については、1回の治療が高額であり、その経済的負担が重いことから十分な治療を受けることができず、子どもを持つことを諦めざるを得ない方も少なくないことから、特定不妊治療に要する費用の一部を助成することにより、その経済的負担の軽減を図ることを目的に平成17年度から実施している。

イ 実施状況

申請件数:7件(実件数5件)

(5) 母子保健ライブラリー整備事業

ア目的

母子保健に関する健康教育や保健指導等に活用するための専門図書、視聴覚教材、特殊模型等を整備し、母子保健関係者に閲覧、貸し出しを行うことにより、母子保健事業の充実を図る。

イ 母子保健ライブラリー教材活用状況

1 10 1 11100 / 1 1 /	2 11 11 11 11 11 11 11			
利用施設	品 名		使用目的	回数
平内町	妊娠シミュレーター	1セット	乳児ふれあい体験学習	4 回
健康増進課	沐浴人形	2体	(中学・高校生対象)	4 🖭
外ヶ浜町	妊娠シミュレーター	2セット	中学生赤ちゃん	3 回
福祉課	沐浴人形	1体	ふれあい体験学習	3 凹

5 精神保健福祉関係

(1)入院通院医療事務関係

ア 精神障害者申請・通報届出状況

① 精神障害者の診察

① 相开降音名	1,5 24.	診察の必	要がない		診察を受	けた者	
		と認め	かた者	精神障	章害者	精神障	
区分	申請通報届出件数	即入院	その他	法第29 条該当症 状の者	法第29 条該当症 状ではな かった者	精神障害者で はなかった者	計
一般の申請 (22条)	2	0	0	2	O	0	2
警察官の通報 (23条)	1 0	0	1	5	4	0	9
検察官の通報 (24条)	3	0	2	1	0	0	1
保護観察所長の通報 (25条)	0	0	0	0	0	0	0
矯正施設長の通報 (26条)	8	0	8	0	0	0	0
病院管理者の届出 (26条の2)	0	0	0	0	0	0	0
合 計	2 3	0	1 1	8	4	0	1 2

注) 単位:件 平成29年4月~平成30年3月

② 措置入院患者

前年度末患者数	本年度中新規患者	本年度中解除患者	本年度末患者数
5 人	8 人	10 人	3 人

イ 医療状況 (管内精神病院の入院患者数)

① 入院形態別患者年度末人数 (H30年3月精神病院月報より)

区分			入 院		
年度	合 計	措置	医療保護	任 意	その他
2 9	1, 008	4	6 5 5	3 4 8	1
2 8	1, 012	6	6 2 5	3 8 0	1
2 7	1, 015	5	5 6 4	4 4 6	0

注) 単位:人

②病名別入院患者年度末人数 (H30年3月精神病院月報から)

年 度 区 分	2 9	2 8	2 7
症状性を含む器質性精神障害	3 4 9	3 4 4	3 0 8
アルツハイマー病型認知症	184	174	1 6 0
血管性認知症	4 1	4 6	3 5
上記以外の症状性を含む器質性精神障害	1 2 4	1 2 4	1 1 3
精神作用物質による精神及び行動の障害	5 2	4 6	6 0
アルコール使用による精神及び行動の障害	4 8	4 3	5 8
覚せい剤による精神及び行動の障害	1	1	1
その他の精神作用物質使用による精神及び行動の障害	3	2	1
統合失調症、統合失調症障害及び妄想性障害	4 6 3	483	5 1 5
気分(感情)障害	7 5	6 9	5 9
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現障害	2 4	6 9	5 9
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	5	6	4
成人のパーソナリティ及び行動の障害	1 0	8	7
精神遅滞(知的障害)	1 3	2 2	2 6
心理的発達の障害	1 1	9	1 1
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特 定不能の精神障害	4	2	3
てんかん (FO に属さない計上)	1	1	4
その他	1	4	3
計	1, 008	1, 012	1, 015

注) 単位:人

ウ 自立支援医療(精神通院医療)受給者証所持者数 (平成29年4月~平成30年3月)

区分	障害を含む器質性精神	精神及び行動の障害精神作用物質使用による	障害及び妄想性障害統合失調症、統合失調症を	気分障害	連障害及び身体表現障害神経症性障害、ストレス関	因に関連した行動症候群生理的障害及び身体的要	害成人の人格及び行動の障	精神遅滞	心理的発達の障害	発症する行動の障害等小児期及び青年期に通常	てんかん	その他・分類不明	合計
合 計	100	142	1,830	1, 495	173	14	39	87	187	73	496	335	4, 971
青森市	95	137	1, 699	1, 419	161	14	39	70	185	73	456	316	4, 664
平内町	1	3	68	31	7	0	0	4	1	0	18	8	141
今 別 町	1	1	15	11	0	0	0	1	0	0	5	4	38
蓬 田 村	0	1	16	12	1	0	0	0	0	0	4	2	36
外ケ浜町	3	0	32	22	4	0	0	12	1	0	13	5	92

注) 単位:人

工 精神障害者保健福祉手帳交付件数 (平成29年4月~平成30年3月)

	14 1			11 12 1	. •	(1 ///-		- / - 1 /	
区分	ने	交	で付者	累計	数	平成2	29年度	新規交付	十者数
市町村		合計	1級	2級	3級	合計	1級	2級	3級
合 計	+	3, 342	1, 227	1,810	305	286	49	178	59
青森市	Ħ	3, 128	1, 152	1, 683	293	273	48	171	54
平内町	丁	120	41	73	6	6	1	3	2
今別町	丁	22	6	15	1	3	0	2	1
蓬 田 柞	计	19	6	11	2	3	0	2	1
外ケ浜町	Į,	53	22	28	3	1	0	0	1

注) 単位:件

オ 精神科救急医療システム事業実績(平成29年4月~平成30年3月)

区	当番	実施日数	空床確保		対応件数					
市町村	休日中	夜 間 (平日·休日)	日 数 (日)	電話のみ	来院	入院	合 計			
青森県立つくしが丘病	元 6	3 132	132	0	63	17	80			
浅 虫 温 泉 病	范	45	45	0	3	6	9			
芙 蓉 会 病	元 3	97	97	57	22	27	106			
生協さくら病	元 2-	80	80	132	56	16	204			
青 い 森 病	范	11	11	0	2	1	3			
合 計	12	365	365	189	146	67	402			

注) 単位:件

力 市町村別、病名別、男女別患者数 (平成29年4月~平成30年3月)

刀 巾呵付別、病名別、男女別思者数 (平成29年4月~平成30年3月)											
市町村	総	数	器質性精神障害	神及び行動の障害精神作用物質による精	統合失調症	気分(感情)障害	神経症障害	人格障害	精神遅滞	てんかん	その他
	男	409	155	26	150	28	4	3	7	4	32
青森市	女	624	337	7	161	52	2	5	3	-	57
	計	1,033	492	33	311	80	6	8	10	4	89
	男	25	7	5	11	_	_	_	2	_	0
平内町	女	35	15	ı	10	1	-	_	6	-	3
	計	60	22	5	21	1	1	1	8	1	3
	男	8	6	1	1	-	-	-	1	-	0
今別町	女	10	8	ı	1	_	-	-	-	1	0
	計	18	14	1	2	-	-	-	1	1	0
	男	5	3	I	2	-	-	1	1	-	0
蓬田村	女	5	5	ı	1	-	-	1	-	-	0
	計	10	8	I	2	-	-	-	1	-	0
	男	9	6	1	1	1	_	_	_	_	0
外ケ浜町	女	18	9	ı	4	3	1	_	_	_	1
	計	27	15	1	5	4	1	1	_	_	1
	男	456	177	33	165	29	4	3	9	4	32
合計	女	692	374	7	176	56	3	5	9	1	61
注1)	計	1. 148	551	40	341	85	7	8	18	5	93

注1) 入院患者で、保健所に届出のあった者の合計 注2) 単位:人

キ 市町村別、病名別、男女別患者数 (平成29年4月~平成30年3月)

キ 中町刊別											
下町村	総	数	器質性精神障害	精神及び行動の障害精神作用物質による	統合失調症	気分(感情)障害	神経症障害	人格障害	精神遅滞	てんかん	その他
	男	2,011	39	107	741	486	50	9	42	225	312
青森市	女	2, 653	56	30	958	933	111	30	28	231	276
	計	4,664	95	137	1,699	1, 419	161	39	70	456	588
	男	69	1	1	30	16	4	0	4	9	4
平内町	女	72	0	2	38	15	3	0	0	9	5
	計	141	1	3	68	31	7	0	4	18	9
	男	20	0	1	8	6	0	0	1	3	1
今別町	女	18	1	0	7	5	0	0	0	2	3
	計	38	1	1	15	11	0	0	1	5	4
	男	18	0	1	8	6	1	0	0	2	0
蓬田村	女	18	0	0	8	6	0	0	0	2	2
	計	36	0	1	16	12	1	0	0	4	2
	男	47	1	0	18	7	1	0	9	8	3
外ケ浜町	女	45	2	0	14	15	3	0	3	5	3
	計	92	3	0	32	22	4	0	12	13	6
	男	2, 165	41	110	805	521	56	9	56	247	320
合計	女	2,806	59	32	1,025	974	117	30	31	249	289
	計	4, 971	100	142	1,830	1, 495	173	39	87	496	609

注1) 通院患者で、保健所に届出のあった者の合計 注2) 単位:人

(2) 精神保健福祉相談実施状況

アー相談件数

区分	年 度	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度
合	計	(27)	(19)	(23)
	ĒΙ	97	28	28
来	所	(1)	(4)	(4)
未	ולו	3	4	4
電	話	(26)	(15)	(19)
电	茚	94	24	24

注1)()内は実数

イ 平成 29 年度目的別相談件数

(件)

(件)

相談内容	受診・入院について	通院・服薬について	生活指導等について	経済的問題	性格・行動上のこと	患者への接し方について	アルコールについて	薬物について	人間関係について	施設入所について	社会復帰について	福祉サービスの利用について	ひきこもりについて	その他	計
総延件数	28	18	39	8					1					3	97

(3) 訪問指導状況 (件)

年度	平成29年度訪問內容													
	平成	É	保健師(相談員を含む) に よ る		含む) る	その他職員による			平成	平成				
区分	29 年 度	一般	社会復帰	老人	計	一般	社会復帰	老人	計	一般	社会復帰	老人	28 年 度	27 年 度
(実人員) 延人員	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)

注1)()内は実数

(4) 精神障害者地域生活支援広域調整等事業

ア目的

精神障害者のうち1年以上の長期入院をしている者(支援がなければ1年以上の入院が見込まれる者も含む)について、地域移行支援を推進するための体制整備をする。

精神障害者の地域移行支援については平成23年度から実施しており、国の動向に合せて事業が組み換えとなっている。

なお、平成 29 年度は東青地域全体で精神障害者の地域移行支援に取り組むため、青森市が主催している相談事業所等を対象とした青森市地域相談支援連絡会と合同開催とした。

開催年月日	場所	内容	出席者
平成 29 年 12月 20日(水)	青森県立 図書館	①説明「長期在院者の状況について」 ②情報提供 1)「芙蓉会病院の長期入院者の意向調査結果について」 2)「不動産関係者から聴取した意見について」 3)「浪岡地区における地域移行支援の成功事例について」 ③グループワーク 長期入院者の退院に向けて各機関ができること等	医療機関、相談支援事業所、町村等 44名 青森市 9名 当所 4名

(5)包括的基盤強化事業「多分野合同研修会」

ア 多分野合同研修会

自殺総合対策大綱(平成24年8月28日閣議決定)では、「自殺は、その多くが追い込まれた末の死」であり、「その多くが防ぐことのできる社会的な問題」であるとの自殺総合対策の基本認識を示し、国、地方公共団体、関係団体、民間団体、企業、国民等の関係者の連携による包括的な生きる支援を展開することが重要であるとしている。

本事業は、地域の特性に応じた包括的な自殺対策の推進により、「誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現」に向け、社会全体の自殺リスクを低下させていくことを目的として実施するものである。

開催年月日	場所	内容	出席者
		 ①東青地域における自殺者及び自殺	精神科救急医療シス
平成 30 年	東地方保健所	未遂者の現状報告	テム連絡調整委員会
2月14日(水)	2 階会議室	②自殺ハイリスク者に対する取組に	委員 12 名
		ついて	事務局7名

(6) 心の健康づくり推進事業

ア 定期相談 実施なし

イ 随時相談 0件

(7) 関係機関等連絡会議

ア 精神科救急医療システム連絡調整委員会

目 的

精神科救急医療システムの実施体制、運営方法や稼働状況を点検し、救急医療に関係する施設、機関の連携に関する情報交換をするために開催した。

開催年月日	場所	内 容	出,	席	者
平成 30 年 2月14日(水)	東地方保健所 2階会議室	1 報告 (1)精神科救急医療システム事業実績について (2)保健所における申請・通報等への対応状況について (3)東青地域における自殺者及び自殺未遂者の現状報告 2 協議 (1)システムの運営方法及び稼働状況について」 (2)自殺ハイリスク者に対する取組について	委員等事務局		2名 7名

6 難病関係

(1) 特定医療費支給認定

平成27年1月から難病法(難病の患者に対する医療等に関する法律)が施行され、難病(発病の機構が明らかでなく、治療方法が確立していない希少な疾病であって、長期の療養を必要とするもの)のうち、厚生労働大臣が定める「指定難病」については、患者の医療費の負担軽減を目的として、一定の認定基準を満たしている場合、その治療に係る医療費の一部を助成している。

疾病番号	疾病名	青森市	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	0
73	下垂体性TSH分泌異常症	1					1
74	下垂体性PRL分泌亢進症	10					10
75	クッシング病	2		1			3
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	12	2				14
78	下垂体前葉機能低下症	50	2	1	1	1	55
	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1					1
	サルコイドーシス	36	4				40
85	特発性間質性肺炎	46	3	1	1	3	54
86	肺動脈性肺高血圧症	7					7
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	6	1				7
89	リンパ脈管筋腫症	8					8
90	網膜色素変性症	20	1				21
91	バッド・キアリ症候群	3					3
93	原発性胆汁性肝硬変	70	1		2	1	74
	原発性硬化症胆管炎	4					4
95	自己免疫性肝炎	6					6
96	クローン病	119	3	1		1	124
	潰瘍性大腸炎	258	9	2		7	276
	好酸球性消化管疾患	3				,	3
111	先天性ミオパチー	1					1
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	1					1
	筋ジストロフィー	34					34
	脳表へモジデリン沈着症	1					1
	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1					1
127	前頭側頭葉変性症	3	1				1
156	ります。 レット症候群	ა 1	1				1
158	結節性硬化症	1					1
		_	1				1
-	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	7	1				8
171	ウィルソン病	1					1
179	ウィリアムズ症候群	1					1
209	完全大血管転位症	1					1
212	三尖弁閉鎖症	1					1
215	ファロー四徴症	2					2
216	而大血管右室起始症 2.	1					1
220	急速進行性糸球体腎炎	2					2
	抗糸球体基底膜腎炎	1					1
222	一次性ネフローゼ症候群	29	2	1			32
	紫斑病性腎炎	2					2
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)				1		1
227	オスラー病	2					2
	閉塞性細気管支炎	1					1
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1					1
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1					1
271	強直性脊椎炎	4					4
280	巨大動静脈奇形(頚部顔面又は四肢病変)	2					2
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症-2	1					1
300	IgG4関連疾患	1					1
	好酸球性副鼻腔炎	2					2
	進行性ミオクローヌスてんかん-1	1					1
	計	2, 159	103	28	22	40	2, 352

※指定難病:平成27年1月~110疾病、平成27年7月~306疾病、平成29年4月~330疾病

(2) 特定疾患治療研究事業

原因が不明であって、治療方法が確立していない、いわゆる難病のうち、56の特定疾患については、治療がきわめて困難であり、かつ、医療費も高額であるので、従来から特定疾患治療研究を推進するとともに患者の医療費の負担軽減を図っている。 なお、難病法が施行されたことに伴い、平成27年1月から本事業の対象疾患は5疾患となってい

なお、難病法が施行されたことに伴い、平成 2 7 年 1 月から本事業の対象疾患は 5 疾患となっている。

特定疾患医療受給者証所持者数 (平成30年3月31日現在)

単位:人

疾病番号	疾患名	受給者数
1	スモン	2
2	プリオン病(ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る。)	0
3	重症多形滲出性紅斑(急性期)	0
4	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0
5	重症急性膵炎	1
	合 計	3

(3) 難病患者相談事業等

①市町村への情報提供(避難行動要支援者のため)

- ・災害時避難対策支援に係る県から市町村への難病患者に関する情報提供については、「市町村への特定疾 患医療受給者に関する個人情報提供の実施手順」(平成25年3月18日付け青保第1271号「市町村への 特定疾患医療受給者に関する個人情報提供について」)に基づき実施していた。
- ・平成26年11月の災害対策基本法の改正に伴い、新たに平成28年2月16日付け青保第2033号通知され、 県から市町村への難病患者に関しての情報提供の際は、本人同意書を不要とし、県は市町村の求めに応 じ、保有する情報を提供することとなった。

②医療相談

第1回目 日時: 平成29年8月22日(火)10:00~12:00

日時: 平成29年8月8日(火)10:00~12:00

会場:外ヶ浜町総合福祉センターなどわーる

対象: 難病患者及びその家族

内容:①勉強会

テーマ: 「いきいきと暮らすために-難病と共に歩む」

講師:青森県立中央病院 医療連携部

難病看護師 藤田香央里

②難病患者さんの体験談発表

インタビュー形式で発表、就労場面のパワーポイント上映

講師:東郡の難病患者さん(パーキンソン病)

③運動を交えた交流会

参加者: 患者9名(パーキンソン病5名、進行性核上性麻痺1名、 特発性間質性肺炎3名)、患者家族等6名、今別町保健師 1名、蓬田村保健師1名、外ヶ浜町保健師2名 難病患

者等訪問相談員1名、保健所5名 計25名 第2回目

会場:平内町勤労青少年ホーム

対象:神経・筋疾患及び骨・関節系疾患患者及びその家族

内容:①勉強会

テーマ: 「お家でできるリハビリ講話」

講師:平内町国保平内中央病院

リハビリテーション科長(理学療法士)

米田良平、言語聴覚士 内山七重

②運動を交えた交流会

※個別相談は利用希望者おらず、実施なし。

参加者: 患者2名(重症筋無力症1名、パーキンソン病1名)、

患者家族3名、平内町保健師2名、難病患者等訪問相談 員2名、看護学生2名、理学療法士学生1名、保健所3

名 計15名

(4) 患者会支援

・訪問等の個別支援を通じて、会の活動の周知を行った。

(5)健康相談状況

年 度	個別相談 (所内面接) 延件数	電話相談延件数		
29	115	44		
28	287	23		
27	137	20		

(6) 保健師による家庭訪問

	- • •				
	⇒+ 18187.7.7.1+-*/-	内		容	
年 度	訪問延件数(実数)	筋 萎 縮 性 側索硬化症	脊髄小脳変性症 ・ 多系統萎縮症	パーキンソン病	その他
29	176 (83)	6(2)	32 (17)	39 (17)	99 (47)
28	116 (72)	4(2)	27 (18)	38 (19)	47 (33)
27	54(51)	4(2)	10 (10)	10 (10)	30 (29)

(7) 難病患者等訪問相談員による訪問相談

⇒+1887.⊄/\+*/•			内	容		
年 度	訪問延件数 (実数)	筋 萎 縮 性 側索硬化症	脊髄小脳変性症 ・多系統萎縮症	パーキンソン病	その他	
29	18 (8)	0	7 (4)	5(2)	6(2)	
28	15 (9)	対象なし	9(5)	2(2)	4(2)	
27	9(3)	対象なし	6(2)	対象なし	3(1)	

7 保健・医療・福祉包括ケアシステムの推進

近年の少子・高齢化の進行、疾病構造の変化等により、複雑・多様化する県民の保健・医療・福祉ニーズに的確に対応できるように、保健・医療・福祉包括ケアシステムの構築を推進する。

サービス提供にあたっては、地域住民が生涯にわたり、住みなれた地域で健康で安心した生活を送ることができるように、利用者本位の視点で保健・医療・福祉サービスを総合的・一体的に提供することを目標とする。

そのためには、住民に最も身近な市町村単位で保健・医療・福祉包括ケアシステムを構築することが必要であることから、管内市町村における包括ケアシステムの推進・充実へ向けた取組みに対して支援を行っている。

平成28年度より、青森地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進会議と「青森地域難病対策協議会」または「青森地域認知症連携懇談会」を併催し、開催している。

(1) 青森地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進会議

開催日時	開催場所	実 施 内 容	出席者
平成29年10月3日(火) 18:30~20:00 (青森地域認知症連携 懇談会併催)	ラ・プラス青い森 2階 メープル	・青森県認知症施策について ・早期発見・早期対応を軸とした、有機的な 医療と介護の認知症連携体制の検討	委員及び委員代理 15名 オブザーバー 11名 事務局 7名
平成30年2月22日(木) 18:00~19:30 (青森地域難病対策協 議会併催)	ラ・プラス青い森 3階 プリムラ	・東青地域の状況について ・災害時要支援者名簿、個別計画について	委員 15名 事務局 9名

(2) 青森脳卒中地域連携パス連絡協議会

青森地域保健・医療・福祉包括ケアシステムのツールの一つである「青森圏域脳卒中地域連携パス」(以下、「パス」と略記。)に携わる医師、看護師、リハビリテーション担当職員、橋渡し担当職員及び維持期施設担当職員が、脳卒中患者の円滑な日常生活復帰に向けた切れ目ないサービス提供を図るために、パス運用の現状と課題について職種ごとの分科会及び全体会で意見交換を行った。

開催日時	開催場所	実施内容	参 加 者数
平成 29 年 6 月 30 日 (金) 18:30~21:00	県民福祉プラザ	(1)世話人会 ・パスの青森メディカルネットでの運用(テスト・ 試行運用)について (2)一般講演 演者:青森県立中央病院 リハビリテーション科長 山内 淳 先生 司会:青森県立中央病院 脳卒中ケアユニット部長 布村 仁一 先生 (3)症例検討 症例1:「青森県立中央病院から青森慈恵会病院へ パスを利用し転院された患者」 症例2:「青森県立中央病院から芙蓉会村上病院へ パスを利用し転院された患者」 演者:熊本市民病院 主席診療部長 橋本 洋一郎 先生	214名(延) 保健所参加職 員(所長他 1 名)
平成29年11月20日(月) 18:10~19:40	アピオ あおもり	(1)世話人会・協議会 ・脳卒中地域連携パスの実施状況について ・あおもりメディカルネットを利用したパスの運用 について ・脳卒中地域連携診療計画書の一部変更について ・運用マニュアルの一部改正について ・回復期病院の脱会について	114名(延) 保健所参加職 員(所長他 1 名)
平成30年2月5日(月) 18:00~19:40	ラ・プラス 青い森	 (1)世話人会 ・パスのあおもりメディカルネットでの試行運用について ・嚥下食対応表の更新について ・平成30年度協議会開催予定について ・回復期施設の脱会について (2)協議会 ・意見交換会 テーマ「現行パスにおける改善点など」 	131名(延)保健所参加職員(健康増進課長他1名)

(3) 東青地域橋渡しネットワーク推進連絡会

東青地域橋渡しネットワーク推進連絡会において、医療機関地域医療連携室、地域包括支援センター及び 介護老人保健施設等の施設で橋渡しに携わっている職員が、患者の退院調整等に係る切れ目ないサービス提 供を図るため、「顔の見える関係」づくりや研修及び情報交換を目的に行っている。

平成28年度より、青森市保健所保健予防課がオブザーバーとして参加している。

開催日時	開催場所	実施内容	参 加 者数
WH 00 /5 5 H 0 H / H)		第1回役員会	役員 4名
平成29年5月8日(月)	東地方保健所	会の活動の方向性の検討、	保健所 3名
17:00~19:15		研修会企画	オブザーバー 3名
平成29年7月5日(月)		第2回役員会	役員 4名
17:30~19:00	東地方保健所	・会の活動の方向性の検討、	保健所 3名
17.50 ~19.00		研修会企画	オブザーバー 2名
平成29年10月19日		第3回役員会	役員 5名
(木)	東地方保健所	・研修会準備	保健所 5名
17:30~18:45			オブザーバー 3名
		'事例から学ぶ'多職種連携研修会	保健・医療・福祉関係者 86名
		講師:北畠外科胃腸科医院	役員 4名
平成 29 年 10 月 21 日		院長 北畠 滋郎 先生	事務局 8名
(土)	ラ・プラス青い森	ファシリテーター:あんさん訪問看護ステーション	
14:00~16:00	2階 カメリア	所長 沼倉 昌洋 氏	
14.00~16.00		・老衰による死の事例(1事例)につ	
		いて、12Gに分かれ、事例検討を	
		行った。	
平成29年11月21日		第4回役員会	役員 5名
(火)	東地方保健所	・研修会振り返り、次年度事業企画	保健所 3名
17:30~19:00			オブザーバー 2名
		在宅医療・在宅ケア座談会	保健・医療・福祉関係者 11名
平成30年1月31日(水)	市州七伊海岸	・難病患者事例(2事例)に関して、	事務局 4名
18:00~20:00	東地方保健所	実務者レベルの意見交換を行った。	
			,

(4) 在宅医療・介護連携の推進

・医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、居宅に関する医療機関と介護サービス事業者などの関係者の連携を推進することを目的に、青森市高齢者支援課が主体となり策定した入退院調整ルールを、平成29年4月から東郡全体で利用することとなった。

8 感染症予防関係

(1) エイズ予防関係

相談内容は、「HIV」「肝炎」「その他感染症」が含まれる。

区分	採血件数		相談件数		相談内訳			
	男	+r	男	+r	電	話	来	所
年度	カ	女	Ħ	女	男	女	男	女
29 年度	14	5	15	3	14	3	1	0
28 年度	31	9	15	6	13	6	2	0
27 年度	43	9	8	8	8	8	0	0
26 年度	44	12	22	5	21	5	1	0

注1) 単位:件

(2) 感染症発生状况

疾患	一類	二類	三類	四類
		結	腸 管	٥
			出 血 性	つ
			大腸	が
			菌 感	虫
年次		核	染 症	病
29年	0	0	0	0
28年	0	8	0	0
27年	0	4	0	0
26年	0	5	0	1

五類感染症全数把握疾患は過去3年間 の発症がなかった。

注1) 単位:件

注2) 届出があった疾患のみ記載。

(3) 感染症発生動向調査年次別状況(定点報告数)

区 分	29年	28年	27年	26年	25年
インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)	84	104	120	148	105

※平成25年以降のインフルエンザ以外の報告数については、24年に管内小児科定点が廃止となった ため、定点報告数としては、計上されない。

注1) 単位:件

注2) 1月~12月集計

(4) 肝炎治療費助成(青森県肝炎治療特別促進事業)

平成20年度から青森県肝炎治療特別促進事業実施要綱に基づき、保健所を窓口にして肝炎インターフェロン治療を受けようとする者に医療費の助成が始まった。

平成22年度から肝炎アナログ製剤治療が新たに医療費の助成となった。

青森市を含む東青地域を中心に県内各地域からの申請書類の受付及び相談業務を行っている。

平成26年度からインターフェロンフリー治療が新たに医療費助成の対象となった。

肝炎治療受給者証新規申請件数

(平成30年3月31日現在)

		内 訳						
年度	新規申請	インターフェロン	核酸アナログ	3 剤併用	インターフェロンフリー	インターフェロンフリー治		
		治療	製剤治療	治療	治療	療(再治療)		
29年度	109	0	2 4	0	7 1	1 4		
28年度	163	0	3 7	1	1 2 0	5		
27年度	2 5 2	2	2 7	1	2 2 1	1		

9 組織の育成関係

(1) 保健協力員研修会等

ア目的

保健協力員活動に関する情報交換と地域における健康問題についての学習を行い、保健協力員活動の活性化と地域住民の健康水準の向上を図る。

イ 実施状況

会議名	開催年月日	場所	内容		加員
東地方保健協力員研修会	平成 29 年 8月 30 日(水) 10:15~15:00	平内町勤労青少年ホーム	研修内容 (1) 平成29年度東地方保健協力員連絡会総会 (2) 平内町保健協力員活動報告 (3)「A保健所管内における保健協力員活動に関する研究」 結果報告 (4) 健康体操「だし活ダンス」「しゃきしゃき百歳体操」 (5) 講演 「自分達の地域は自分達で守る!災害につよい地域づくりのすすめ」 (6) グループワーク 「災害に強いまちづくりに向けて自分達ができること」	93)	人
第一回・第二回	平成 29 年 6月13日(火) 10:00~12:00	月13日(火)	協議内容 (1) 平成 29 年度青森県保健協力員会等連絡協議会役員会組織会、総会、研修会の報告 (2) 平成 28 年度東地方保健協力員連絡会監査報告について(3) 平成 29 年度東地方保健協力員連絡会予算案について(4) 東地方保健協力員連絡会役員体制について(5) 平成 29 年度東地方保健協力員連絡会研修会について(6) 青森県立保健大学との共同研究について	13 ,	人
第二回役員会	平成 29 年 12月12日(火) 10:00~12:00	所	協議内容 (1) 平成29年度東地方保健協力員連絡会事業報告について (2) 平成29年度東地方保健協力員連絡会収支報告について (3) 平成30年度東地方保健協力員連絡会事業案について (4) 青森地域保健医療推進協議会の委員について	11 ,	人

ウ 保健協力員数

年	度	合 計	青森市	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町
29	9	298	89	74	37	20	78

(2) 食生活改善推進員の養成及び育成

ア目的

地域における健康づくり及び食生活改善を推進する指導的人材を育成するため、健康づくり支援者 (ヘルスサポーター)となるボランティアリーダー等の人材育成に努める。

イ 実施状況

事業名	開催年月日	場所	事業内容	参加 人員
総会・研修会	平成29年 5月12日(金)	アピオあおもり (青森市)	【総会】 ・平成28年度事業報告及び平成29年度事業計画 ・平成28年度決算報告及び平成29年度収支予算 ・情報提供 「飲食店麺類塩分改善事業の背景と食生活改善推進員の活動について」 「だし活ダンス」 がん・生活習慣病対策課 主査 芳賀智恵子 【研修会】 ・講話 「生活の現状と食事バランスについて」 東地方保健所健康増進課 技師 盛 美咲	会員 42名 町村 事務局 7名 保健所 3名
合同料理講習会	平成29年 10月17日(火)	アピオあおもり (青森市)	【調理実習】 生涯骨太クッキング 【ミニ講話】 「衛生的な手洗いについて」 東地方保健所生活衛生課 主幹 飯塚崇行	会員 23名 町村 事務局 4名 保健所 2名
理事会	平成29年 4月18日(火) 6月30日(金) 平成30年 3月27日(火)	東地方保健所 会議室	・平成29度総会・研修会準備 ・会長伝達事項(県理事会報告等) ・合同料理講習会について ・事業計画について ・平成29度管内食改事業進捗状況について ・平成30度総会・研修会について	(延 21 名)

ウ 食生活改善推進員会員数

左连	合 計	平内町	今別町		隆田村		
年度	台 計	コ. 旦! ユン トJml	一 万川四	蟹田地区	平舘地区	三厩地区	建山竹
2 9	1 0 9	3 4	1 6	2 0	1 2	1 8	9

10 地域保健関係者研修

(1)目的

多様化、高度化する保健ニーズを有する地域住民がより主体的に健康を高め、地域で安心して生活できるよう、その支援者である地域保健関係者が健康な地域づくりを目指して専門的知識や技術を習得し、生活者重視の視点にたった保健福祉サービスが提供できるように、地域保健関係者の資質の向上及び関係者間の連携を強化することを目的とする。

(2) 対象

- ア 地域健康福祉部職員及び町村の保健・医療・福祉関係職員
- イ 研修目的に応じた、保健・医療・福祉分野以外の関係者及び住民組織、ボランティア団体等

(3) 実施状況

		研 修 内 容	:			受	講者	数	
	年月日	テーマ	講師等	対象者	県	市町村	関係機関	その他	計
1	H29.8.7	【第1回保健師業務連絡会議(リーダー会議)】 1. たばこの害を理解し、効果的な保健指導につなぐために(講話) 2. 地域づくりのためのソーシャルキャピタルとの協働(講話) 3. ソーシャルキャピタルとの関わりを人材育成の視点から検討しよう(討議)	東地方保健所 所長 武田仁志 がん・生活習慣 病対策課 総括 副参事 三浦 たみ子	・管内リーダー等 保健師 ・所内保健師	4	4			8
2	H29.10.21	【東青地域橋渡しネットワーク推進連絡会研修会】 「事例から学ぶ」多職種連携研修会 多職種で願いを紡ぐ看取りケア	北畠外科胃腸科 医院院長 北畠 滋郎 あんさん訪問看 護ステーション 所長 沼倉 昌洋	・東青地域橋渡しネットワーク推進連絡会 会員 ・東青管内保健・医療・福祉関係者	8	2	88		98
3	H29.12.6	【母子保健ネットワーク会議】 1. 養育面で困難を抱える家庭への支援について 〜虐待を防ぐために〜(事例検討) 2. 妊産婦情報共有システムの運用状況について(情報提供)	青森県立精神保 健福祉センター 所長 田中 治	・青森市内産科医療機関 ・青森市・管内町村 母子保健担当職員 ・東青地域県民局地 域健康福祉部職員	9	12	11		32
4	H29.12.27	【東地方保健所管内給食施設栄養管理 研修会】 (学校、保育所)	東通村立東通小 学校栄養教諭 飛内 美津子	・管内給食施設(学校・保育所)の管理栄養士、栄養士、調理師、調理員等・管内町村の行政栄養士、保健師	4	3	9		16
5		【東青地域橋渡しネットワーク推進連絡会研修会】 在宅医療・在宅ケア座談会 (役員会と併催)	はスステーク はスステーク また	・東青地域橋渡しネットワーク推進連絡会 会員 ・東青管内保健・医療・福祉関係者	4	1	11		16
6	H30.2.28	【第2回保健師連絡会議】 1. 糖尿病の運動療法~遠藤指導の実際(講話及び実技) 2. 各市町村の糖尿病重症化予防の取組状況について(情報交換) 3. 災害時における栄養・食生活支援(情報提供)	青森県立中央病 院臨床検査部 健康運動指導士 西村 司	・管内町村保健師 ・青森市保健師 ・所内保健師	7	11	1		19
		-		合計	36	33	120		189

11 医療技術者等研修

(1) 目 的

看護学生及び栄養士学生が、保健医療福祉行政の中の保健所の機能及び役割、保健所の業務内容について、 理解を深めることができるようにする。

また、講義・演習・体験(見学実習等)を通して、看護学生においては、保健所保健師の機能や役割を理解 し、地域看護活動の展開に必要な知識、技術、態度の習得、栄養士学生においては、管理栄養士の役割や業務、 他職種との連携について理解し、栄養改善業務の実践に必要な知識、技術、態度の習得を図るものである。

種別	実習名	学校名等	実習期間	人数
		弘前学院大学看護学部看護学科 4年次	H29. 5. 30(火)~H29. 6. 2(金)	6人
看護 学生	地域看護学 実 習	青森県立保健大学健康科学部看護学科 4年次	H29. 7. 11(火)~H29. 7. 14(金)	4人
		青森中央学院大学看護学部 4年次	H29. 8. 21(月)~H29. 8. 24(木)	4人
栄養 学生	公衆栄養学 臨地実習	青森県立保健大学健康科学部栄養学科 3年次	H29. 6. 26(月)~H29. 6. 30(金)	4人